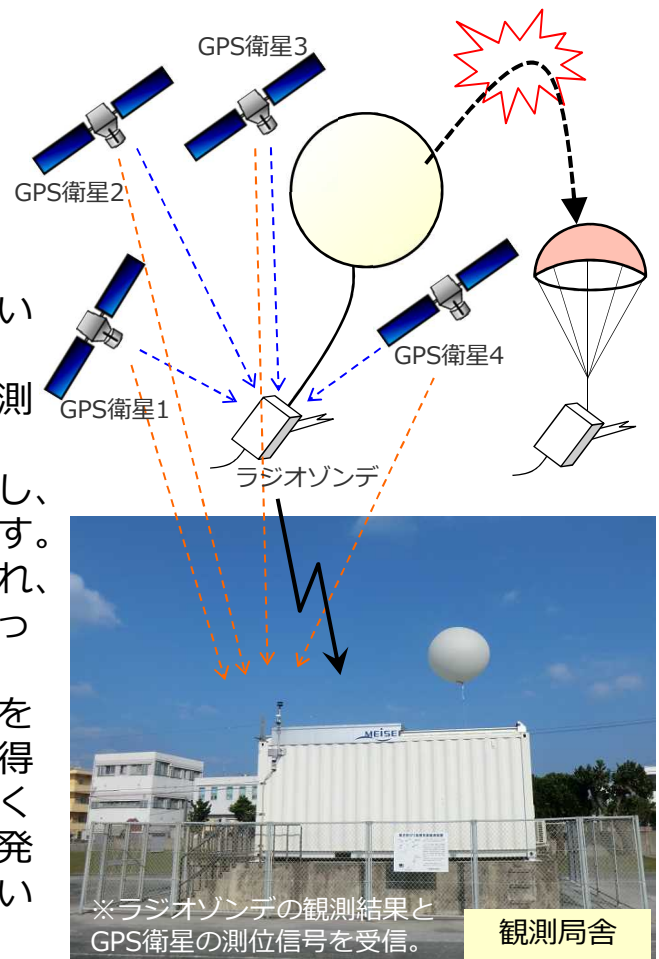


上空の気象観測について

気象庁は、毎日の天気予報や注意報・警報などの防災気象情報を発表していますが、精度をさらに上げるには、地上の気象観測だけではなく上空の気象観測も不可欠となります。このため、石垣島地方気象台では、ラジオゾンデという観測器を取り付けた気球に、空気より軽い水素ガスを入れて空に放球し、その浮力により高度約30Kmまでの大気を直接観測しています。



ラジオゾンデには、温度計と湿度計が付いており、気温と湿度を直接観測します。風については、GPS衛星（4基以上）の測位信号を利用し算出しています。ラジオゾンデは上昇しながら大気を観測し、その結果を刻々と電波で地上に送信します。やがて、上昇とともに膨張した気球が割れ、気球内部にあるパラシュートで地上にゆっくりと降りて、その役目を終えます。この観測方法は、垂直方向の大気の状態を把握できるため、精度の高い観測結果を得られる点が特徴です。そのため、最近よく報道などで取り上げられる線状降水帯の発生メカニズムの解明に向けた研究にも用いられています。



気象庁では、全国16か所の気象官署で毎日9時、21時にラジオゾンデによる観測を行っています。

9時の観測では朝8時30分過ぎに放球します。そのときに石垣島の空を見てみてください。大空のどこかに白い気球が見えるかもしれませんよ。

防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2170

石垣島地方気象台はこちらから



【2023年7月号】